

○水生生物モニタリング調査結果一覧（相馬市沖L）

<相馬市沖L 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目			放射性物質分析項目		
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
L-1	○	○	○	○	○	○
L-2	○	○	○	○	○	○
L-3	○	○	○	○	○	○

<相馬市沖L 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時		水質					底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (°C)	泥温 (°C)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)	
L-1	37.8209°	140.9607°	H26.10.29	—	10:18	—	16.8	シルト混砂	10Y3/1	貝殻片	—	—	
L-2	37.8157°	140.9764°		9:18	9:38	16.5	17.0	細砂	7.5Y3/1	貝殻片	2.0	2.0(着底)	
L-3	37.8217°	140.9765°		8:39	9:57	16.6	17.0	細砂	10Y3/1	貝殻片	1.8	1.8(着底)	

<相馬市沖L 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
L-2	37.8157°	140.9764°	H26.10.29	9:18	8.1	0.5	1.5	8.2	5,040	32.09	1.1	4	1.6	0.0068	0.021	0.0012
L-3	37.8217°	140.9765°		8:39	8.1	1.0	1.7	8.4	5,060	32.09	1.3	6	2.5	0.012	0.036	—

<相馬市沖L 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
L-1	37.8209°	140.9607°	H26.10.29	10:18	7.7	259	31.0	3.1	7.0	2.696	2.3	5.0	17.8	48.6	11.0	15.3	0.15	9.5	38	130	—
L-2	37.8157°	140.9764°		9:38	8.1	280	17.6	0.9	2.2	2.729	0.2	2.8	71.4	23.8	1.1	0.7	0.33	4.75	6.7	16	N.D. (0.21)
L-3	37.8217°	140.9765°		9:57	8.2	275	21.1	1.2	2.1	2.721	0.0	0.5	56.8	39.2	1.8	1.7	0.27	2	9.3	30	—

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<相馬市沖L 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	種名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			Cs-134 (Bq/kg-wet)	Cs-137 (Bq/kg-wet)	Sr-90 (Bq/kg-wet)		
		緯度	経度										成長段階	胃内容物	測定部位					
L-1 L-2 L-3	松川浦	37.8209° 37.8157° 37.8217°	140.9607° 140.9764° 140.9765°	H26.10.29	藻類・植物	—	—	—	—	—	プランクトン (浮遊藻類)	相当数	0.014	—	—	—	170	520	—	
					被子植物	単子葉植物	イナヱ	アマ	<i>Zostera marina</i>	アマモ	相当数	1.1	—	—	—	N.D. (0.36)	0.46	—		
					緑藻植物	ワサ	ワサ	<i>Ulva pertusa</i>	アナアオサ	相当数	0.29	—	—	—	—	0.79	2.5	—		
					節足動物	軟甲	十脚	テカ'エ'	<i>Palaemon paucidens</i>	スジエビ属	146	0.051	成体	—	—	—	2.3	6.3	—	
					節足動物	軟甲	十脚	モズ'ガ'ニ	<i>Hemigrapsus sp.</i>	イソガニ属	170	0.21	成体	—	—	—	1.8	5.5	—	
					軟体動物	二枚貝	ウケ'イサ'イ	ウケ'ガ'キ	<i>Crassostrea gigas</i>	マガキ	49	6.0	成体	—	—	—	0.87	2.8	—	
					軟体動物	二枚貝	マルサ'レ'ガ'イ	マルサ'レ'ガ'イ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	アサリ	67	1.8	成体	—	—	—	0.91	3.0	—	
					脊椎動物	硬骨魚	カサコ	アテナメ	<i>Hexagrammos otakii</i>	アイナメ	6	0.64	成魚	カニ類	—	—	0.55	2.0	—	
					脊椎動物	硬骨魚	ササコ	ササコ	<i>Sebastes cheni</i>	シロメバル	2	0.050	成魚 (1歳)	アミ類	—	—	—	0.91	3.0	—
					脊椎動物	硬骨魚	ス'キ	シネギンボ	<i>Pholis crassispina</i>	タケギンボ	21	0.046	成魚	—	—	—	N.D. (1.5)	2.3	—	
					脊椎動物	硬骨魚	ス'キ	ハゼ	Gobiidae	ハゼ科	37	0.040	成魚	—	—	—	1.1	2.5	—	

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓(胃、腸)の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：成長段階の赤字記載は、鱧または耳石による年齢査定の結果を示す。

※6：プランクトン(浮遊藻類)とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※7：河床付着物(藻類を含む)とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落とししたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※8：N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※9：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。